

「小規模・特認校ならではの農園・貧困・人権の取組」

恵庭市立松恵小学校 校長 加藤 紀子

担当者 教諭 山本 志保

1. 本校のESDの特徴

本校では、「ユネスコショップ」の取組を中心として、食育・環境、国際社会・人権等への取組を行っています。食育・環境では「学校園での野菜づくり」「川の学習」および「緑の少年団活動」に取り組み、「書き損じはがきの回収」「リングプル・PETボトルキャップ回収」「赤い羽根募金」「緑の募金」等での寄付活動にも力を入れています。

全校児童が100名程度の小規模校であるため、回収活動・校内募金では限界がありますが、「少人数でも貢献できるもの」「ユネスコへの寄付活動によって感動を与えられるもの」を検討して取り組んでいます。以前から、低学年では「生活科」での作物の育成、中・高学年では「総合的な学習の時間」で「農園学習」を行っていたため、農園で栽培した作物をユネスコショップで販売して得られた「代金」をユネスコに寄付するように計画しています。収穫物の仕分けや販売準備等は、代々1・2年生の担当としています。



300坪の農園で、学年ごとに様々な野菜を育てており、かつての教員住宅の建物を「ユネスコショップ」として展示・販売を行っていますが、その際「寄付」する旨を周知して、保護者や通行者に、代金以上の金額を納めてもらっています。中・高学年の授業は、買い手に喜んでもらえるように、作物の種類を工夫したり、丁寧に世話したりして、売上に貢献しています。コロナ禍で中止となってしまいましたが、「収穫祭」として、保護者や地域住民を招いて調理等を行う行事も計画されていました。



その他の活動として、総合的な学習の時間、英語・外国語活動の時間を使った国際理解の授業、いじめ等に関する全校標語づくりやCAPプログラムを通しての人権教育、今年度は中止となりましたが、地域の方との交流として「餅つき」や「昔遊び交流」等も計画されていました。

2. 活動全体計画

月日	活動事業名	活動実施内容	参加人数	備考
5/6	緑の募金活動	恵庭市道の駅「花ロードえにわ」にて募金活動 (悪天候のため中止)	34	5・6年
5/12	学校農園栽培活動 (種まき集会)	栽培する野菜の発表、育て方・注意することなどの調べたことをもとにした発表	103	全学年
6/10	フラワーロード 花苗植え	東恵庭松恵クラブ(敬老会)、環境保全会、PTAと全校児童で共催(学校単独で実施)	103	左は児童数のみ
6/25	クリーン活動	遠足目的地のゴミ拾い(行事時間短縮のため、身の回りのごみのみ)	103	全学年

8/19	川の学習	川の環境保全活動（生物観察・ゴミ拾い）（感染症と悪天候で中止）	34	5・6年
8/24	植樹活動	学校農園敷地内に苗木の植樹（中止）	35	3・4年
9月	学校農園栽培活動 収穫祭	栽培した作物の収穫と収穫物を使っての調理、バイキング形式全校昼食会 （全校→各学年で対応 収穫祭月間に）	103	5・6年
10/14	フラワーロード 片付け	松恵クラブ（敬老会）、環境保全会、PTAと全校児童で共催（学校単独で実施）	103	全学年
10/25	朽ち木・落ち葉活用 焼き芋	学校農園で栽培したサツマイモを学校周辺で集める朽ち木や落ち葉を活用して焼き芋にする	34	1・2年
11/22	花の学習①	石田花園にて花の種まき（卒業式には自分たちで植えた花で式場を飾る）	18	6年
2/10	林間学校 森林学習	森林散策・観察、開拓の村見学（中止）	103	全学年
1/26	花の学習②	石田花園にて花の芽を育苗からポットへ移す作業（感染症対策で中止）	18	6年

3. 活動事例

活動分野：環境、国際理解、福祉、持続可能な生産と消費、食育、貧困

- 300坪の農園で、様々な作物を作りました。
気候、地質、調理方法等の調べ学習にもつながっています。
- 農園で作った野菜を販売し、ユネスコへの寄付を募りました。
- ユネスコショップでの売上と寄付をあわせて地元のユネスコ協会会長に贈呈しました。

4. 成果と課題

8月～10月の2か月間、1・2年生を中心に「ユネスコショップ」を運営してきました。その間、たくさんの方々に来校していただき、たくさんの野菜を購入していただきました。12月に行われた全校朝会では、恵庭ユネスコ協会の方に来校していただき、収益金26,143円を2年生代表からユネスコ協会の方へ贈呈しました。



各学年で、学校農園での野菜づくりに取り組み、集めた収益金が、ユネスコの「世界寺子屋運動」基金の一助になり、世界のめぐまれない子どもたちの学用品代などとして利用されることを知り、達成感を感じると同時に、SDGsの活動に関心を持つきっかけとなりました。

コロナ禍で実施が難しい活動はありますが、その中でもできる事を見つけ、地域・保護者等との交流や、作物の選定や利活用方法等の学習を通して、環境問題・食育の取り組みも行っていけたら、と考えています。